

# 食べておいしい良型ぞろい 木更津沖でシロギス狙い

東京湾奥深川出船

撮影●粕川晃

●この時期のシロギスはテクニカルな難しさもあるから面白い



▲富士見は深川の老舗船宿

▼エサのアオイソメはタラシ3センチほどで



▶「メンビン」、胴つきは好みでいいが、ハリス付きの替えハリがあると便利

## 東京湾奥 白魚喜



●食べてはおいしいサイズがそろそろ



▶仲間と釣果を競い合うのも楽しい



▲この日はたませ気味に待つのがよかった

シロギスは周年狙える東京湾の人気小物釣り。季節により様ざまな顔を見せるが、今の時期は深場を狙う「落ち」の季節。といっても最近は深くても水深20メートル台のことが多く「落ちギス」というイメージはあまりないものの、この時期ならではの食味のよさには定評がある。

ポイントは各所にあるが、取材した東京湾奥深川・富士見の斎藤船長が狙ったのは木更津沖の水深20〜22メートル。このポイントは数こそそのびないものの良型がそろるのが特徴。当日も15センチ以下は交じらず、大半は20センチ前後と釣り応え、食べ応えとも十分だった。

(詳細は46ページ参照)



●東京湾奥深川・富士見 斎藤 正雄船長